# NPO 法人バイオフォーラム
## ― その成り立ちと今後の展望 ―

大学院医学系研究科　神経薬理学分野　教授
NPO 法人バイオフォーラム　理事長　白尾　智明

平成 5 年に私は行動分析学部門の教授として群馬大学に着任いたしましたが、当時群馬大学でもポストゲノム時代に向けた気運が高まっていました。しかし、東京と前橋の距離は大きく、研究用の機器の導入が数年遅れているのが普通でした。そこで、新しい研究用機器を産・官・学の研究者に紹介する目的の集会「群馬大学バイオフォーラム」を刀城会館で平成 12 年から毎年一回開催することにいたしました。

一方、昭和町キャンパスをあげての産学連携のための気運が生まれており、平成 13 年に地域共同研究センター（現在の「産学連携・知的財産活用センター」）が医学部のある昭和町キャンパスに分室を設立したのをきっかけに、分室が「群馬大学バイオフォーラム」集会の事務局を引き継ぎました。その後徐々に、「群馬大学バイオフォーラム」は見本市のみならず産学連携を討論する場を提供するようになってきました。

ここで生まれたアイディアのひとつが、法人を設立し恒常的な推進を図ることでありました。そこで、小濱名誉教授（当時は薬理学教授）が医学部教授会において、産学連携のための NPO 法人の設立について諮問をしましたところ、全面的な了解が得られました。そこで当時学部長であった鈴木元学長の全面的バックアップのもと、北関東における産と学の代表的な方々に発起人になっていただき、小濱名誉教授を初代理事長として、NPO 法人北関東バイオフォーラムが平成 16 年に発足しました。

発足当初の NOP 法人の主な業務は、「群馬大学バイオフォーラム」集会の開催のほか、他省庁からの補助金を受け、種々の研究会を開催することでした。平成 26 年には名称を NPO 法人バイオフォーラムと変更し、昭和町キャンパスの産学連携活動を推し進めるとともに、医学・薬学関連の学会事務局業務のサポートも開始し、その活動範囲を北関東の外にまで展開しています。

昨年度の各種委員会の活動を例にとり、本 NPO の活動内容をご紹介します。

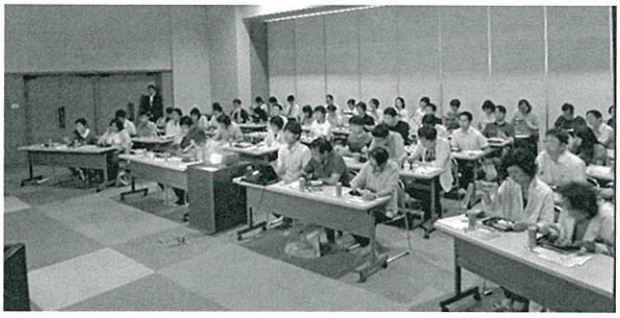
### （1）展示・セミナー等推進委員会

6 月 17 日に第 18 回群馬大学バイオフォーラム（Bio Gunma 2015）を昭和町キャンパス刀城会館で開催しました。38 社から機器展示が行われ、総勢 200 人以上の参加者が有りました。

Bio Gunma 2015 における機器展示

また、12 時から 17 時半まで、展示と並行して「ゲノム編集最新ワークフロー～ツール選択から細胞樹立まで～」、「フローサイトメトリー

法（FACS）の原理の解析例紹介」、「BLI法による分子間相互作用装置Pall-fortebio社Octet/Blitzの紹介」、「がん研究におけるセルベースアッセイ」、「NanoLucルシフェラーゼを用いた発光イメージング」、「シングルセル発光イメージング」と題する6題の講演が行われました。



Bio Gunma 2015におけるセミナー

これらの講演は大学院カリキュラムとして認定されています。例年、講演や展示で紹介された最新の研究機器は、翌年の機器購入の申請に大いに活かされています。

最近その利用が多くなってきている受託解析等に関しまして、個々の研究者の要望に添った受託解析先を探し出すために、Bio Squareを9月30日、10月2日、2月18日、3月17日に開催しました。この活動は研究者と企業とのマッチングを個別に行う機会を提供するもので、平成27年度より新たに始めたものですが、研究者からの要望が高く、大変好評のため、今後は開催頻度を増やしていきたいと思っています。

その他、ギルソンピペットマンクリニックの開催や、前橋市のまちなかキャンパスや野村證券のヘルスケアセミナー、聴診実習への講師派遣を行いました。

### （2）総務委員会

本NPOはホームページ上で会員より医工連携に関わる事業の企画・提案を募集し、総務委員会で喫緊の課題を選定しています。平成27年度は介護ロボットに関する展示セミナーの企画が提案され、群馬大学理工学府および前橋工科大学と連携して、平成28年10月開催を目指して、活動を開始しました。また、種々の学会・研究会の助成申請を随時受け付けています。平成27年度は、第58回日本神経化学会大会、第31回PIXEシンポジウム、第4回前橋新適塾、リーディング大学院シンポジウムなどへの助成を行いました。

第4回前橋新適塾

### （3）その他の活動

広報委員会は、群馬県におけるがん診断に関わる群馬テレビの番組企画を行いました。また、建築健康医学研究推進委員会は「ぐんま健康・省エネ住宅推進協議会」の第一回「暮らしか始める健康セミナー」の開催を支援しました。

### （4）今年度の展望

今年度は6月22日に昭和キャンパスの刀城会館において第19回群馬大学バイオフォーラム（Bio Gunma 2016）を開催します。また、昨年度より準備を始めた介護ロボットのセミナー・展示会として「新しい介護のテクノロジー」を前橋工科大学で10月7日に開催予定です。Bio Square活動、ギルソンピペットマンクリニック活動、また、地域の医工連携活動への講師派遣も行います。

一昨年度より計画しておりました本NPO法人の認定NPO化の申請は平成29年4月に行う予定ですが、認定NPO化により今までにまして、寄付金を受け入れやすくなり、より多くの事業を行えるようになることを期待しております。また、本年度の新規事業課題に関しましては、非会員の皆様からの提案もHPを通じて、随時お受けしておりますので、ふるってご提案ください。